

バイオインフォマティクス： 生命の多様性と進化に基づく生命科学の統合に向けて

総研大レクチャー『寺子屋』参加者の皆様

このたびは、総研大レクチャー寺子屋『情報生物学』第5回にご参加いただきありがとうございました。

一部の方には五條堀講師の資料がお帰りに間に合わず、申し訳ありませんでした。本日(2/7)、別便で郵送しましたので、お受け取り下さい。

今後ともDDBJをよろしくお願い致します。



講義中の様子

[このほかの写真はこちらからご覧下さい！](#)

- 日時：2003年2月5日（水）～7日（金）
- 会場：静岡県三島市国立遺伝学研究所 [ゲストハウス2階会議室](#)
- 対象：原則として大学院生30名程度
- 参加費：無料
- 主催：[総合研究大学院大学](#)
- 協力：[日本DNAデータバンク\(DDBJ\)](#)
- 世話人：五條堀孝
- [高野講師の演題を変更しました\(1/14\)](#)
- [定員に達したため参加受付を終了しました\(1/20\)](#)
- [プログラム更新：開会・事務連絡の後に挨拶を追加（講議時間に変更ありません）\(1/29\)](#)
- [懇親会会場を変更しました（遺伝研中です）\(1/30\)](#)

生命科学はここ数年の間にめざましい変貌を遂げてきた。例えばある生物現象を分子生物学的に研究する場合、従来はその現象に関与すると思われる遺伝子を一一つ解析することによって全体像を構築しようとしていたのに対し、現在ではまずその生物が持つ全てのゲノム情報を読んでしまってからある現象に関わる全ての遺伝子をESTなどの遺伝子発現データを用いて同定し、遺伝子間の相互作用を発現データのコンピュータ解析によって一気に解明していくという手法がとられるようになってきたのである。現在までに様々なモデル生物種においてゲノムプロジェクトが進行あるいは終了しており、塩基配列を始め、異なる臓器・組織におけるEST発現パターンなどといった生物情報が急速な勢いで蓄えられてきている。それらのデータはもちろんそれぞれの生物種における生物現象を理解するために重要な役割を担っているが、同時にこれらのデータを生物種間で比較することは生物進化の研究に極めて有用である。

本レクチャーでは、ポストゲノム時代における新しい生物進化研究領域や遺伝子発現やシステムズバイオロジーの分野を切り開いてこられた先生方に、それぞれの分野の形成過程からご自分の研究内容を含んだ最先端のトピックまでを博士課程などの大学院生にご講義いただくことにより、学生に最新の生命科学的知識を教授するとともに新しい生命科学を切り開いていくための考え方を教授することを目的とする。また、レクチャー期間中講師と学生による討論時間を設け、現在の生命科学の抱える問題点とさらなる発展の可能性について議論する。

プログラム

2月5日（水）	演題／講師（所属）
13:00 - 13:10	開会・事務連絡
	五條堀 孝（国立遺伝学研究所・総合研究大学院大学）
13:10 - 13:15	挨拶
	平田 光司（総合研究大学院大学 教育研究交流センター長）
13:15 - 14:45	バイオデータベース構築学入門1
	菅原 秀明（国立遺伝学研究所・総合研究大学院大学）
15:00 - 16:30	バイオデータベース構築学入門2
	大久保 公策（九州大学）
16:45 - 18:15	比較ゲノム学入門
	渡邊 日出海（奈良先端科学技術大学院大学）
18:15 - 21:00	懇親会（遺伝研 CIB-DDBJ 棟 W302）
	会費は3000円です。参加を希望される方は申し込みの際にご連絡下さい
2月6日（木）	演題／講師（所属）
08:30 - 10:00	染色体情報構造学入門
	池村 淑道（国立遺伝学研究所・総合研究大学院大学）
10:15 - 11:45	遺伝子発現パターンからシステムズバイオロジーへ
	小原 雄治（国立遺伝学研究所・総合研究大学院大学）
11:45 - 13:15	昼食（400円でお弁当を用意致します。希望される方は申し込みの際にご連絡下さい）
13:15 - 14:45	生物多様性情報学入門
	田嶋 文生（東京大学）
15:00 - 16:30	集団の遺伝構造、進化情報の解析学入門
	高野 敏行（国立遺伝学研究所）
16:45 - 18:15	SNPのための集団遺伝学入門
	舘田 英典（九州大学）
2月7日（金）	演題／講師（所属）
08:30 - 10:00	遺伝子発現パターンの進化学
	五條堀 孝（国立遺伝学研究所・総合研究大学院大学）
10:15 - 11:45	遺伝子進化学概論
	斎藤 成也（国立遺伝学研究所・総合研究大学院大学）
11:45 - 12:15	総合討論・閉会
	鈴木 善幸（国立遺伝学研究所）

参加申込み：[定員に達したため参加受付を終了しました。1/20](#)

webからの申込みはこちらから！（現在はご利用いただけません）

メールで申込み場合は、氏名・所属・連絡先の住所と電話番号、懇親会参加およびお弁当希望の有無を次のアドレスまでお送り下さい。

terakoya@ddb.j.nig.ac.jp

国立遺伝学研究所までのアクセス：

JR三島駅まで東京から1時間、名古屋から2時間（東海道新幹線のこだまを利用する場合）。

三島駅からバス・タクシーで約15分。

[地図など（国立遺伝学研究所のサイトへ）](#)

三島市内のホテルリスト

[宿泊される方はご利用下さい。](#)

そのほか

国立遺伝学研究所は三島市街からやや離れた丘の上にあります。所内には飲食施設がなく、軽食の自動販売機がある程度です。徒歩で十数分の場所にはお店がありますが、あらかじめ昼食等を用意なさることをお勧めします。

[過去の寺子屋へ [第1回](#) / [第2回](#) / [第3回](#) / [第4回](#)]

[CIB-DDBJ ホームページへ] | [DDBJ ホームページへ]

terakoya@ddb.j.nig.ac.jp

更新日：2003年2月13日